

平成30年度  
福生市立図書館

基本計画  
点検評価表

評価項目一覧表(目次)

	自己	第三者	頁
<b>【基本目標1】市民一人ひとりの個性を大切にし、生涯にわたる自主的な学習を支える図書館</b>			
1 市民のニーズに応える蔵書構築を目指します	B	B	1
1 資料の充実			
2 各世代の成長過程に配慮したサービスを行います	B		2
1 乳幼児サービスの充実			
3 視聴覚資料の充実を図ります	A		2
1 聴覚資料の充実			
4 現在の図書館サービスでは十分対応できない人へのサービスの充実を図ります	A	2	
2 障害者サービスの充実			
5 市民と市民をつなぐ活動を積極的にを行います	A	3	
1 市民文化活動の拠点			
6 西多摩の市町村との連携を継続します	A	3	
1 西多摩の図書館との広域利用や昭島市との相互利用の継続			
<b>【基本目標2】市民が利用しやすく快適な空間のある図書館</b>			
7 どこに住んでいても図書館サービスを受けられる体制を目指します	B	B	4
1 図書館から離れた地域への対策や利便性を考えた図書館の配置			
8 より利用しやすく快適な図書館を目指します	A		4
2 「読書・学習コーナー」の設置			
9 より安全で安心して利用できる図書館を目指します	A	4	
1 震災対策を推進			
<b>【基本目標3】市民の課題解決に役立つ図書館</b>			
10 暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ図書館を目指します	A	A	5
1 相談業務(レファレンス・サービス)の充実			
11 情報通信技術を活用し、市民の課題解決に役立つ図書館を目指します	A	5	
1 情報通信技術を活用した図書館サービスの充実			
<b>【基本目標4】家庭・地域・学校の教育力の向上を支え、読書の大切さを発信する図書館</b>			
12 図書館は市内の各種機関と協働を進めることで、家庭・地域・学校の教育力の向上を支援します	A	A	6
1 学校教育への支援を推進			
13 図書館は市民との協働を進めることで、家庭・地域の教育力の向上を支援します	A		6
1 おはなしボランティアとの協働を推進			
14 家庭・地域・学校に読書の大切さを発信します	A	6	
1 おはなしボランティアグループと協働で読書の大切さを発信			
<b>【基本目標5】地域資料の充実を図り、地域文化の継承と創造に寄与する図書館</b>			
15 デジタル資料を含めた地域資料の収集と提供を進めます	A	A	6
3 地域資料の調査・研究の相談、支援の充実			
16 行政機関・議会への資料・情報提供を進めます	A	6	
1 行政機関サービスの充実			
<b>【基本目標6】長期的な視点にたった図書館運営を行い成長する図書館</b>			
1 「福生市人材育成基本方針」に基づく専門的職員の育成	A	A	7
<b>成果指標</b>			8

【凡例】評価基準 A:計画通り実施し、一定の成果があった。  
 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。  
 C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

# 福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成30年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
<b>【基本目標1】市民一人ひとりの個性を大切に、生涯にわたる自主的な学習を支える図書館</b>									
<b>1 市民ニーズに応える蔵書構築を目指します</b>									
		1 資料の充実	継続	<p>・児童外国語コーナーの充実 [指標]外国語絵本の受入冊数 [目標値]100冊 [参考]</p> <p>・分類「民法」「社会福祉」「教育」「医学」「家政学」「スポーツ」「環境」の資料を重点的に収集する。 [指標]指定分野の資料の受入冊数 [目標値]前年度比3%増(2,152冊) [参考]平成29年度 2,090冊 所蔵冊数 45,542冊 貸出冊数 65,923冊</p> <p>・福生市に関する資料を充実させる。 [指標]福生市に関する資料の総冊数(分館も含む) [目標値]前年度比5%増(14,225冊) [参考]平成29年度 13,548冊</p> <p>※資料には福生に関するパンフレットの綴りも含まれる。また、視聴覚資料は除く。</p>	数値	<p>[児童外国語絵本の受入冊数] 58冊 【目標達成率】58% &lt;図書館コメント&gt; 英語のほか、中国語、ベトナム語、スペイン語、フランス語の5カ国語を購入した。併せて読むことができるよう、日本語でも出版されている絵本を対象としたため、購入できる本が限られ、購入目標の達成には至らなかった。</p> <p>[指定分野の資料の受入冊数] 1,953冊 【目標達成率】90.8% &lt;図書館コメント&gt; 今年度は昨年度に比べ、一般書の購入冊数が少なかった。結果として重点収集資料の受入冊数も減ってしまった。来年度はより重点的に資料を選定・収集行う。 参考:一般書 平成29年度10,502冊 平成30年度9,947冊 児童書 平成29年度 3,473冊 平成30年度3,937冊</p> <p>[福生市に関する資料の総冊数(分館も含む)] 14,332冊 【目標達成率】100.8% &lt;図書館コメント&gt; 今年度は目標値に達することができた。来年度も継続して資料の充実に努めていきたい。</p>	B	B	<p>児童外国語絵本の受入冊数の目標達成率が58%で残念です。日本語でも出版されている本に限らず、評価の定まっている本についても購入検討対象にするとのことですので、今後の蔵書の充実に期待します。</p> <p>【意見】日本語と外国語の両方で印刷されている絵本も購入対象にすると良いと考えます。購入した絵本の「外国語絵本展示」を行ったことはよかったと考えます。市内学校の日本語学級への団体貸し出しを検討しているとのことですが、ぜひ行ってください。また、図書館から学校への配布物、例えば夏休み前に配るリーフレットなどにも表紙写真などの情報が載ると良いと考えます。在住外国人が市役所に来る機会があると思いますので、市役所内で各種言語で新着案内を行うことを検討してください。さらに、福生市広報での周知も検討してください。</p> <p>指定分野の資料の受入冊数が目標に到達していませんが、1冊あたりの単価が上がっていることも原因であると考えます。</p> <p>福生市に関する資料の充実については、目標を達成することが出来たことはよかったと考えます。</p>

# 福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成30年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
<b>【基本目標1】市民一人ひとりの個性を大切に、生涯にわたる自主的な学習を支える図書館</b>									
<b>2 各世代の成長過程に配慮したサービスを行います</b>									
		1 乳幼児サービスの充実	新規	・他施設と連携し、乳幼児タイムの周知を図る。 [指標]乳幼児タイムの参加人数 [目標値]前年度比5%増(1,790人) [参考]平成29年度 参加人数 1,705人	数値	[乳幼児タイムの参加人数] 1,583人 【目標達成率】88.4% <図書館コメント> 他施設共催事業での乳幼児タイム周知に加え、武蔵野台では新しくミニミニおはなし会の実施を開始したが、昨年度のサービス内容の変更はなかったにも関わらず、他3館の利用が伸びず、目標達成率は88.4%にとどまった。実施回数が昨年度より少なかったことは、要因のひとつとして考えられる。	B		乳幼児タイムの参加人数の目標達成率が88.4%で残念です。  【意見】乳幼児タイムの実施回数に合わせた目標値を設定することが必要かもしれません。
<b>3 視聴覚資料の充実を図ります</b>									
		1 聴覚資料の充実	新規	・CDの貸出点数及び予約点数の変更について検討する。	記述	<図書館コメント> CDの貸出点数については、他市の状況を調査した結果、現状維持のままとする。予約点数については、貸出点数と同数の2点に変更する。	A		CDの予約点数が2点になることはよかったと考えます。
<b>4 現在の図書館サービスでは十分対応できない人へのサービスの充実を図ります</b>									
		2 障害者サービスの充実	新規	・サピエサービスの利用について周知を図る。 [指標]サピエサービスの利用件数 [目標値]20件 [参考]平成30年度新規事業	数値	[サピエサービスの利用件数] 144件 【目標達成率】720% <図書館コメント> 今年度新規事業。周知により宅配利用者や一般登録者から要望を受け、多くの利用があった。	A		サピエサービスの利用件数が目標値を大きく超えたことはよかったと考えます。今後も引き続き周知をお願いします。

# 福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A:計画通り実施し、一定の成果があった。B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。一:次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成30年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
<b>【基本目標1】市民一人ひとりの個性を大切に、生涯にわたる自主的な学習を支える図書館</b>									
<b>5 市民と市民をつなぐ活動を積極的に行います</b>									
	1 市民文化活動の拠点	拡充		・分館3館の広報紙の発行回数を、わかたけ図書館と同数の5回に変更する。 [指標]分館3館の広報紙の発行回数 [目標値]年5回 [参考]平成29年度 わかぎり図書館 3回 わかたけ図書館 5回 武蔵野台図書館 3回	数値	[分館3館の広報紙の発行回数] わかぎり図書館 5回 わかたけ図書館 5回 武蔵野台図書館 5回 【目標達成率】100% <図書館コメント> 発行回数を維持しつつ、掲載内容の充実化を図る。館により、刊行時期に偏りがあった。定期的な発行に努める。	A		分館3館の広報紙の発行回数が目標を達成してよかったですと考えます。  【意見】中央図書館の広報紙をぜひ発行してください。また、各館広報紙にも児童外国語絵本の新着案内を載せることを検討してください。
<b>6 西多摩の市町村との連携を継続します</b>									
	1 西多摩の図書館との広域利用や昭島市との相互利用の継続	新規		・現在、広域利用を行っている西多摩と相互利用を行っている昭島市以外の地域との連携について、検討する。	記述	<図書館コメント> 検討の結果、立川市との連携を新たに行うこととした。	A		立川市との、広域利用連携が行われることになってよかったですと考えます。

# 福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 ー:次年度以降計画予定。

基本 目標	施策	事業	区分	平成30年度事業目標	指標	取組結果	自己 評価	第三者 評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)	
<b>【基本目標2】市民が利用しやすく快適な空間のある図書館</b>										
<b>7 どこに住んでいても図書館サービスを受けられる体制を目指します</b>										
		1 図書館から離れた地域への対策や利便性を考えた図書館の配置	新規	・図書館以外での予約資料の受取や、返却受付の実施について検討を行う。	記述	<p>&lt;図書館コメント&gt; 市内他公共施設での予約資料の受け取り・返却受付の実施について検討を行った。依頼先施設の業務負担の増、回収による時差の発生があることなどを鑑み、現時点での実施は難しいとの結論にいたった。新たな施設の配置については、福生市公共施設等総合管理計画において今後40年間で施設の20%削減をうたっていることもあり、検討対象とはしなかった。</p>		B	<p>【意見】図書館以外での予約資料の受取や、返却受付の実施については、依頼先施設の業務負担の増、回収による時差の発生があるとのことですが、今後行われる予定の中央図書館改修工事に伴う長期休館に対応するためにも、再検討を望みます。 希望場所:子ども応援館、福祉センター、おもちゃ図書館など。</p>	
<b>8 より利用しやすく快適な図書館を目指します</b>										
		2 「読書・学習コーナー」の設置	新規	・レファレンス室と学習室の違いについて確認・検討を行い、その内容について、周知を行う。	記述	<p>&lt;図書館コメント&gt; 掲示を行い、周知した。パソコンの使用はレファレンス室で、調べものを伴わない勉強等は学習室へという内容のもの。</p>		A		
<b>9 より安全で安心して利用できる図書館を目指します</b>										
		1 震災対策を推進	新規	・中央図書館の災害対応マニュアルを作成する。	記述	<p>&lt;図書館コメント&gt; 中央図書館の災害対応マニュアルを作成した。災害が生じた際の行動マニュアルとしていきたい。</p>		A	<p>中央図書館の災害対応マニュアルが作成されたことを評価します。</p> <p>【意見】災害対応マニュアルにそった避難訓練を、来館者有人時に行ってください。</p>	

# 福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -: 次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成30年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
<b>【基本目標3】市民の課題解決に役立つ図書館</b>									
<b>10 暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ図書館を目指します</b>									
		1 相談業務(レファレンス・サービス)の充実	継続	・レファレンス相談を継続して実施する。 [指標]レファレンス相談件数 [目標値]前年度比3%増(7,248件) [参考]平成29年度 7,037件	数値	[レファレンス相談件数]7,569件 中央 4,509件 わかぎり 1,096件 わかたけ 762件 武蔵野台 1,202件 <図書館コメント> 目標を達成することができた。今後もレファレンスサービスについてのPRをすすめる。	A	A	レファレンス相談件数が目標値を超えたことを評価します。  【意見】若い世代ではレファレンス相談サービスを知らない人も多いようです。さらなるサービスの周知をお願いします。「お気軽にどうぞ」等の文言が大きく書いてあると良いです。
<b>11 情報通信技術を活用し、市民の課題解決に役立つ図書館を目指します</b>									
		1 情報通信技術を活用した図書館サービスの充実	継続	・新着お知らせメールによる案内登録件数を増加させる。 [指標]案内登録件数 [目標値]前年度比5%増(142件) [参考]平成29年度 136件	数値	[案内登録件数] 136件 【目標達成率】95.8% <図書館コメント> 前年度と同じ件数であり、目標には届かなかった。周知に努めたい。	A		【意見】新着お知らせメールによる案内登録の周知に福生市広報紙なども活用してください。

# 福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成30年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
<b>【基本目標4】家庭・地域・学校の教育力の向上を支え、読書の大切さを発信する図書館</b>									
<b>12 図書館は市内の各種機関と協働を進めることで、家庭・地域・学校の教育力の向上を支援します</b>									
		1 学校教育への支援を推進	新規	・調べ学習支援の充実のため、図書館での本の探し方についてのリーフレット『さあ、きみはどうやって調べる?』の改訂を行う。	記述	<図書館コメント> 『さあ、きみはどうやって調べる?』を改訂し、増刷した。小学校の図書館招待時に配布することを検討している。	A		リーフレット『さあ、きみはどうやって調べる?』が改訂されたことを評価します。多くの児童生徒の手に渡ることを希望します。
<b>13 図書館は市民との協働を進めることで、家庭・地域の教育力の向上を支援します</b>									
		1 おはなしボランティアとの協働を推進	継続	・おはなしボランティア講座の実施。	記述	<図書館コメント> おはなしボランティア講座「よみきかせボランティア養成講座」を計2回行い、それぞれ20名の参加があった。読み聞かせ初心者でもおはなし会で使えるような技を、わらべ歌中心に講座を開催した。	A	A	おはなしボランティア講座「よみきかせボランティア養成講座」が開催されたことを評価します。 【意見】高齢者を対象にした「よみきかせボランティア養成講座」も開催を検討してください。
<b>14 家庭・地域・学校に読書の大切さを発信します</b>									
		1 おはなしボランティアグループと協働で読書の大切さを発信	新規	・読み聞かせ用資料のリストを修正する。 ・読み聞かせ用資料の管理を台帳から図書館システムに変更し、管理方法の効率化を図る。	記述	<図書館コメント> おはなし会に使用する大型絵本や大型紙芝居などの資料の在庫リストを改訂し、ホームページ上に公開した。管理用バーコードを付与することで、管理方法を改善した。	A		おはなし会に使用する大型絵本や大型紙芝居などの資料の在庫リストを改訂し、ホームページ上に公開したことを評価します。 【意見】さらに周知をしてください。
<b>【基本目標5】地域資料の充実を図り、地域文化の継承と創造に寄与する図書館</b>									
<b>15 デジタル資料を含めた地域資料の収集と提供を進めます</b>									
		3 地域資料の調査・研究の相談、支援の充実	継続	・ホームページの地域資料コーナーの充実を図り、福生に関するテーマリストを作成・追加し、提供する。 [指標]福生に関するテーマリスト追加件数 [目標値]4件 [参考]平成29年度 4件	数値	[福生に関するテーマリスト追加件数] 4件 (目標達成率) 100% <図書館コメント> 今後も継続して提供する。	A	A	福生に関するテーマリスト追加件数が目標を達成したことを評価します。 【意見】取り組みを継続するとともに、地域資料のデジタル化・発信にも取り組んでほしいです。
<b>16 行政機関・議会への資料・情報提供を進めます</b>									
		1 行政機関サービスの充実	継続	・庁内貸出サービスを継続する。 [指標]庁内貸出点数 [目標値]前年度比5%増(3,062点) [参考]平成29年度 2,917点	数値	[庁内貸出点数] 3,631冊 [目標達成率]118.6% <図書館コメント> 目標を達成できた。今後もPRに努める。	A		庁内貸出点数が目標を達成してよかったですと考えます。



# 福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -: 次年度以降計画予定。

基本 目標	施 策	事 業	区 分	平成30年度事業目標	指 標	取 組 結 果	自 己 評 価	第 三 者 評 価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
<b>【基本目標6】長期的な視点にたった図書館運営を行い成長する図書館</b>									
		1 「福生市人材育成基本方針」に基づく専門的職員の育成	新規	・新規配置職員等の司書資格の未取得者に資格の取得方法について情報提供し、希望者への勤務体制等の配慮を行う。	記述	<図書館コメント> 新規配置職員等の司書資格の未取得者に資格の取得方法について情報提供した。	A	A	【意見】新規配置職員等の司書資格の未取得者が資格の取得をしなかったのは残念です。今後は情報提供の継続とともに情報提供にとどまらず、司書資格取得者または同等の知識を持つ人材を増やし、図書館運営の発展・向上に一層の努力を望みます。

## 成果指標

	指 標	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目 標	目標年度	備 考
1	市民一人当たりの貸出冊数（本・雑誌）	10.8冊	10.8冊	10.0冊	10.5冊	10.0冊	9.6冊	9.7冊	12冊	平成30年度	
2	市民一人当たりの貸出点数（視聴覚）	0.7点	0.74点	0.69点	0.68点	0.63点	0.60点	0.60点	1.1点	平成30年度	
3	登録者率	23.1%	23.6%	20.4%	21.9%	21.8%	20.80%	19.60%	30%	平成30年度	
4	大活字本の所蔵冊数	1,370冊	1,395冊	1,395冊	1,557冊	1,669冊	1,757冊	1830冊	2,000冊	平成30年度	
5	高齢者ボランティアの登録人数 （児童関連を除く）	2人	2人	3人	3人	3人	3人	4人	5人	平成30年度	
6	CDの所蔵点数	8,754枚	8,843枚	8,924枚	9,077枚	9,281枚	9,410枚	9,598枚	11,000枚	平成30年度	
7	DVDの所蔵点数	663枚	748枚	840枚	920枚	1,033枚	1,088枚	1,192枚	1,500枚	平成30年度	
8	ビジネス・しごと支援コーナーの貸出冊数	13,085冊	12,533冊	11,033冊	10,880冊	11,201冊	11,199冊	9,891冊	20,000冊	平成30年度	※武蔵野台図書館分を含む
9	ホームページのアクセス回数	103,000件	155,062件	195,789件	212,520件	208,083件	200,608件	206,801件	150,000件	平成30年度	※従来は図書館トップページのみ の計測だったが、26年度からは図 書館全コンテンツのページを合計
10	学校への調べ学習支援冊数	276冊	236冊	736冊	988冊	402冊	287冊	226冊	600冊	平成30年度	
11	福生市に関する図書所蔵数	10,141冊	10,425冊	10,984冊	11,783冊	12,407冊	13,548冊	14,332冊	15,000冊	平成30年度	
12	自己点検・評価	未実施	未実施	未実施	実施	実施	実施	実施	実 施	平成27年度	
13	第三者評価	未実施	未実施	未実施	実施	実施	実施	実施	実 施	平成27年度	
14	市民への公表	未実施	未実施	未実施	実施	実施	実施	実施	実 施	平成27年度	

## その他意見

- ・令和元年度点検評価表において、1-4-1「現在の図書館サービスでは十分対応できない人へのサービスの充実をはかります」で対象が多文化サービスの充実のみになっていますが、令和2年度以降は障害者サービス、来館が困難な人へのサービスも合わせて基本計画に組み入れてほしいです。
- ・安全対策の推進として防犯カメラの増設を検討してください。
- ・市内他公共施設での予約資料の受け取りは業務負担があり難しいと思いますが、来館が困難な人へのサービスにもつながりますので、検討をお願いします。
- ・若い世代を対象とした家庭内の読み聞かせ講座の開催を検討してください。
- ・世代を問わず、文学を通して生きるヒントが得られる読書会・朗読会のような講座を開催して欲しい。